

4年生の総合学習は「福祉学習」。貴重な体験！

4年生は、2学期の総合的な時間で「福祉について調べよう」の学習に取り組んでいます。10月18日の最初の授業で、保健センターの土屋さんから「ふくしの町づくり」のお話を聞き、その後、「障害平等学習」(10/21)、「耳の不自由な人・手話体験」(10/25・30)、「目の不自由な人・点字体験」(11/5・8)、「体の不自由な人・車いす体験」(11/12)、「高齢者福祉・高齢者体験」(11/15)を学んできました。障害を持つ人から直接お話をうかがったり、それを助ける様々な器具や道具を体験させていただいたりしながら、福祉や障害について一人一人深く学習してきました。

現在、これらの学習で学んだり体験したりしたことをもとに、「みんなにとってやさしい町にするためにはどうすればよいか」について考え新聞形式でまとめています。草津町社会福祉協議会の方々には大変お世話になりました。素晴らしい授業ができました。ありがとうございました。



◇障害平等学習(DE T)◇

「障害って何？」について、映像を見たり車イスの先生と話し合ったりしました。体が不自由な人のことではなく、心の中にあるバリア(壁)こそが障害と気づきました。

◇手話体験・点字体験◇

草津町や中之条町にお住まいの障害を持つ方が小学校に来ていただき、手話や点字を直接教えてくださいました。子どもたちにわかりやすくていねいに声をかけてくださいました。子どもたちは、障害は関係なく、優しい大人の人と楽しい会話ができたことをとても喜んでいました。ありがとうございました。



◇車椅子体験・ブラインドウォーク & 高齢者疑似体験◇

小学校体育館や町福祉センターで、様々な装具を身につけ、障害者や高齢者の疑似体験をしました。装具を外したとき「重かった～、見づらかった～」との声。相手の立場も考えられるようになりました。



「草津ならではの学び」を進めています。

来年4月より学習指導要領が改定され、新たな教育課程が編成されます。例えば道徳や外国語が教科化され、授業時間数が増えます。また、学び方についても、これまでの知識を覚える学びから「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」を取り入れた授業形態に変わっていきます。草津小学校ではすでに、外国語の時間数を増やしたり、道徳をはじめ多くの教科で話し合い活動を取り入れたり、先行して実施しています。

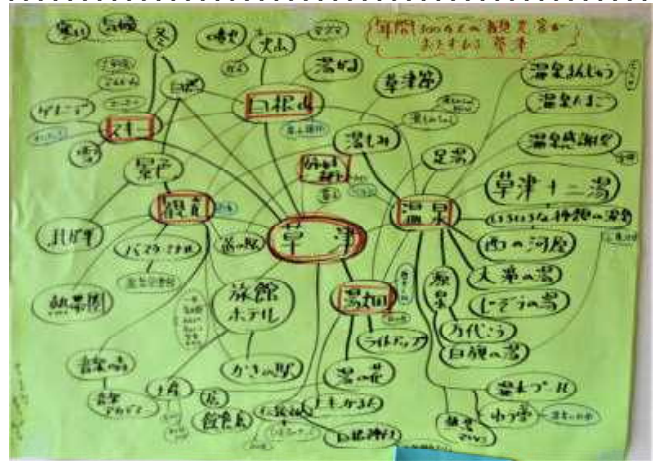
他の要点に「社会に開かれた教育課程」があります。子どもたちの学びや資質・能力を身につけさせていくために、地域社会の人と連携したり資源を活用したりしながら教育を行うことです。これまでも草津小学校では、家庭や地域の方々にお世話になりながら豊かな教育をしてきました。

この機会に、これまでの様々な学びや活動を「草津」をしっかりと意識し、関連性と系統性をもって学んでいきたいと考えています。「草津」を学ぶことを通して、本物を知り感動と感謝の気持ちを境うとともに、よさや課題を見つけ、将来、町づくりへ貢献できる子どもたちを育てることをねらいとしています。

主に、生活科・総合的な学習の時間を中心に調べたりまとめたりしていきますが、社会科で温泉の関連施設や歴史・文化、理科で温泉の酸性と中和や芳ヶ平の自然環境、体育のスキーなど「草津ならではの学び」を進めています。

さらには、来年度、「群馬県生活科・総合的な学習研究協議会・発表会」を本校で開催し、「草津学習(仮)」を紹介したいと考えています。(今年度発表は伊勢崎市の小学校でした)

吾妻教育事務所の指導主事の先生を招いて、授業研究会をしました。



5年総合：「草津」の関連マッピング

<2年生・生活科/町たんけん>

「草津町の人にお店のよさを伝えよう」
先日見学に行った4つのお店を新聞にまとめ中間発表しました。もっとよくするためにカードを使って教え合いました。



<4年生・総合学習/町社協との連携協働>

「目の不自由な人にやさしい町にするために」
目の不自由な人から日常生活のことや子どもたちへの思いを話していただき、その後点字を読んでもらいながら交流を深めました

<6年生・総合学習/郷土を愛する心>

「草津町のよさをパンフレットで紹介しよう」
草津の観光資源の様子をインタビュー等で調べ、そのよさを多くの人に伝えるため、パンフレットの原案を紹介し合い、改善のアイデアを出し合いました。



